

112 藤田保健衛生大学 医療科学部 看護学科合格

修文大学 看護学部 看護学科合格 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

私は中学生の時から、将来は看護師になりたいと思っていました。国公立や専門学校の入試には面接や小論文がありますが、私はどちらも苦手だったので私立大学のみを受験することにしました。私大の看護学部は英語、国語、理科基礎の1つ、もしくは数学の3教科で受験できるところが多く、文系理系どちらにも受験者がいます。ですから、文系の人には理系教科でどれだけ理系にくらいつくかが鍵になると思います。

私は化学と数学がとても苦手な人で、1年間でどうこうできるレベルではないと思います。唯一得意だった生物を集中的に勉強しました。文Iは生物の補習がないので、とにかくわからないことは先生に質問しに行くようにしました。医療系の私大は生物の問題が難しいことが多いので、図表などもよく見せておくと良いと思います。私は1つ1つの語句の意味などを付箋に書いてノートに貼りつける「付箋ノート」を作りました。「付箋ノート」は、過去問や模試でわからなかったことを付け足せたのでとても便利でした。

英語と国語はセンターレベルの問題が多いので、日々の授業や補習の予習復習をしっかりすれば十分通用すると思います。医療系の私大を受ける人にはそれが役に立つと思います。

受験生としての1年間はたくさん不安になったり、嫌いになったりすることがあると思います。私は受験生だからといって、好きなことを全て我慢する必要はないと思っていますので、どうしても辛くなった時には好きなこと、やりたいことをしてストレスを解消するのもいいと思います。終わったあとに頑張ったなと思えるような1年にしてください。

113 南山大学 経営学部 経営学科合格 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

受験生の1年間を終え、思ったことを5つお話ししたいと思います。

1つ目に、志望校を早めに決めたほうがモチベーションを上げることが出来るということです。私はなかなか志望校が決まらず、なぜ勉強しているのかわからなくなる時期がありました。きっと多くの皆さんが私と同じように、今この時期には志望校を決めきれていないと思います。しかし、出来るだけ早めに決めて自分自身を高め、第一志望校合格を目指しましょう。少し高めの目標を設定して良いと思います。勉強は頑張る程伸びます。

2つ目に、授業や補習の予習・復習を徹底することです。特に復習はその日のうちにしておいたほうが記憶に残ります。また、受験用ノートを作り、わからなかった単語を書いておくだけでも、ちょっとした時間の見直しや、試験当日の最終チェックにも使えます。ただの予習・復習かもしれませんが、それが合格にとっても大きく役立ってきます。

3つ目に、英語を早めに勉強し始めることです。これは先輩方や先生方からよく言われたことですが、私自身も実際に経験して、英語は伸びるのに時間がかかります。でも、早めに英語を勉強し始めると、確実に点数が取れるようになると思います。特に英語は勉強すればする程、裏切ることなく伸びると思うので、苦手意識を持つ人が多いと思いますが、まずは英単語の意味を答えられるようになることから頑張ってください。

4つ目に、けじめをつけましょう。どうしても今までの生活を続けてしまったり、部活を引退した途端にオフだと思ってダラダラ寝たりする生活を送ってしまうかもしれません。しかし、受験生は南高生だけでなく、他校の生徒や浪人生もいて、その人たちがすでに勉強を始めていたら確実にスタートが出遅れます。急に何十時間勉強しろと言われても難しいので、まずは勉強机に向かって座るところから始めて、頭を勉強モードに切り替えましょう。

最後に、受験は団体戦ということです。クラスの一人一人が放課に時間を無駄にしたり騒いだりすることなく、受験ムードを作り上げ盛り上げる努力をすることが大切だと思います。この1年で自分

や友達の進路が決まるのです。そこで後輩の皆さんには、放課や移動のちょっとした時も勉強したり、わからないことは友達や先生に積極的に聞いたりしてもっとクラスで、更には、学年全体で高め合ってください。

1年後、笑顔で春を迎えられるように、勝負の受験生活を送ってください。応援しています。

114 南山大学 法学部 法律学科合格

経営学部 経営学科合格

総合政策学部 総合政策学科合格 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

僕は文Ⅰなので理系や文Ⅱの人には参考にならないところもあると思います。家であまり集中できない人は、図書館や市役所などの公共の学習スペースで、できれば携帯の電源切って勉強するのいいと思います。そういうところは家と違って誘惑もないし、周りの受験生からの刺激も受けて自分も頑張ろうと思えるのでお勧めです。暇さえあれば通って勉強する習慣をつけるのいいと思います。また、授業の宿題は出されたその日の放課に片づけておくと、放課後の時間全てを自分がやりたい勉強に使えるので、これもお勧めです。慣れると大体学校で終わらせられるので、ぜひ試してみてください。

赤本は早めに見たほうがいいです。僕はどうせ赤本なんてまだ解けないと思って、結局 12 月くらいまで放置していたので、センター試験が終わってからもっと早く見ておけば良かったと後悔しました。僕はそれまでマーク模試の判定を基準にしていたけれど、私立の大学はマーク模試とはかなり違います。たとえば英語の模試は長文読めればある程度解けるけど、私立は文法の知識を問われる問題が多かったりするので、模試で点がとれて油断していると危ないです。赤本は早めに、できれば月に 1 回毎くらいのペースで解いてみると自分の成長が分かっていいと思います。

最後に、僕は 1、2 年の頃すごく成績悪くて進級もギリギリでしたから、3 年になって南山大学に行くって言ったとき、周囲からは絶対無理ってよく言われました。正直自分でもたった 1 年じゃどうにもならないと思っていました。でも、実際は全然そんなことなかったです。1 年間真面目に勉強すれば、自分の想像以上に学力がつきます。1 年あれば自分の頑張り次第でどうにでもなります。南山だけでなく、もっと上のところにもきっと行けます。最初どんなに悪くても、周りから何を言われても、遠慮せずに自分が本当に行きたいところ目指して欲しいです。最初はなかなか努力しても、結果が出ないかもしれません。でも、辛抱強く毎日コツコツ続けていけば、夏休みを過ぎたあたりから結果が出てくると思います。どうしてもつらい時はセカオワの「Fight Music」お勧めです。1 年間つらいと思いますが、自分を信じて頑張ってください。

115 南山大学 法学部 法律学科合格

総合政策学部 総合政策学科合格 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

僕が受験を通して特に大切だと感じたことを書きたいと思います。

1 つ目はできるだけ早めに志望校を決めることです。明確な目標があるほうがモチベーションを維持しやすいです。目標は高めに設定し、その大学に「挑戦」する気持ちで勉強すると良いと思います。自分の志望校の入試方式や倍率などの情報は早めにチェックしましょう。

2 つ目は授業や補習をしっかりと受けることです。特に夏休みはほぼ毎日補習があり、とても大変でしたが、補習をどれだけ真面目に受けたかでその後の成績の伸びはまったく違うと思います。先生方は熱心に教えてくださるので、自分のやる気次第です！

3 つ目はセンター試験対策を最優先にすべきということです。ほとんどの私大にはセンター利用入試があります。2 月に入ると私大の一般入試で忙しくなりますが、その負担を減らしてくれます。赤本を早めを買うのはいいですが、赤本を中心に勉強するのはセンター試験後からにしましょう。

4 つ目は模試を活用することです。3 年生になるとたくさん模試を受けることになりますが、結果

に一喜一憂せず、自分の間違えた所をしっかりと見直すことが大事です。模試の成績票は、偏差値や判定よりも、裏面の設問別成績で自分の弱点を見つけ、アドバイスを読んで次の模試への対策を立てることが肝心です。

5つ目は最後まで諦めないことです。どれだけ頑張っても、なかなか成績が伸びない時期がありますが、諦めずに勉強し続けてください。ある時急に伸びます。僕はセンターの2週間くらい前に急に伸び始め、センター本番で自己ベストをとることができました。努力し続ければ絶対に点数は伸びます！

受験勉強は本当につらいです。しかし、周りには共に頑張る仲間、支えてくれる先生方がいます。受験が終わった今、逃げ出さず頑張っていた良かったと強く感じます。悔いの残らないように、最後まで諦めず、目標に向かって精一杯頑張ってください！応援しています。

**116 東京外国語大学 言語文化学部 言語文化学科 (ロシア語)合格  
上智大学 外国語学部 ロシア語学科合格  
南山大学 外国語学部 ドイツ学科合格 / 37回生 2018年(平成29年度)卒**

とにかく、目標とする学校を早く決めましょう。

僕は高校入学した時点で今の大学に入りたいと決めていたので、つらい時にも「3年間思い焦がれた大学をここで諦められるか！」と気合で頑張ることができました。また、オープンキャンパスに向いた際にもらった冊子を毎日眺めては、モチベーションを高めていました。

さらに、センター試験や二次試験の科目比率を意識し勉強できることも大きいです。外大は国立ですが、理系科目の配点が少なかったので文Iに進みました。そして、担任の先生と相談をして、まず比率の高い英語と世界史、国語を自分の武器となるまでとことん勉強し、数学など比率の低い科目には手を付けませんでした。どの科目もまんべんなく伸ばすことが理想的な安全策ではありますが、先に武器を作ることは後に大きな自信になるので一つの戦略だと思います。

次に、僕が取り組んだ主要教科の学習について、参考になればと思います。

【英語】まず、言語は使わないことには上達しないものだと思ったので、僕はネットで海外の人々と英語で会話したり、テレビの音声設定を英語にしたりするなどして、日常的に英語に触れる機会を増やしました。

具体的な学習としては、2、3年の春は、英検受検といった身近な目標を作り、市販の対策問題集・単語帳を集中的に取り組みました。夏休みからは先生にお願いして、毎日、英作文の添削をして頂きました。センター前後は、補習でたくさんの長文対策をして頂いたことが力になりました。これらの学習で分からなかった文法構造・単語をノートにまとめ、こまめに見返すようにしていました。文法は毎回の小テスト、定期テストの範囲を完璧に覚えるように心がけました。英語が得意でも苦手でも、3年生は夏休み中に Vintage・Target を完全に覚えると、確実に力をつけることができます！

【世界史】模試は毎回本番だと思って、1～2週間前に全範囲を何度も復習したことが力になりました。時代の流れが大切だと思ったので、古代～近代まで資料集の図で書かれた王朝の変遷を何回も紙に書いて全部覚えました。また市販の「風呂で覚える世界史」で年号をゴロで覚えました。年号を暗記することで縦横のつながりを理解したり、並び替え問題で確実に得点できるようになったり、論述でも何をどのような順序で書くか考えるときの取っ掛かりになるのでお勧めです！

**117 南山大学 経済学部 経済学科合格  
経営学部 経営学科合格  
総合政策学部 総合政策学科合格 / 37回生 2018年(平成29年度)卒**

勉強の仕方は色々あると思いますが、文Iとしての僕の1年を振り返り紹介したいと思います。

僕が勉強を始めようと思ったのは、6月の終わりごろで、実際にスイッチが入ったのは9月に入ってからでした。家で勉強をする習慣がなかったので、朝学の時間や業後に図書館に行くなど家以外の場所で勉強する時間を増やすところから始めて、7月の半ば頃からは卒業生の合格体験での話を思い出し、昼休みに本館で勉強する習慣を始めました。夏の補習の間は、家での勉強時間も増えてきて余裕を持って予習を進めることができ、2学期に入ってから2～3週に1回のペースで模試や定期試験があるので、モチベーションを失うことなく机に向かえました。この頃には勉強することに抵抗がなくなって、「あの人は高1の頃からこれをつけてきているんだ…」と思いながらも、文Ⅱのその人に追いつこうという思いもあってか、全く眠気に襲われずかなり集中していたのを覚えています。

冬の補習の間はセンター対策の演習の毎日、改めて復習と反復の大切さを実感した時期でもありました。個人的な対策としては、苦手だった英語の第4問と速読のための短めの長文を先生に用意してもらって朝学の時間に解いていました。

試験当日で英語が始まる5分前くらいに急に手が震え始めて焦りましたが、武者震いだと考えて、いつもどおり問題を解いて、筆記では第4問で落とすことなく9割近く得点することができました。

センター試験が終わった後は赤本をひたすら解いていました。僕は受験する大学の過去問はそれぞれ1年分解き、第一志望の南山大学の過去問は進路資料室にある南山の赤本を全て解きました。歴史教科は毎日、英国は1日ずつ交互に解きました。その甲斐あって、入試当日は緊張することなく終えることができました。

このような1年を過ごすに際して、念頭に置いていた言葉に「塵も積もれば山となる・習慣が人を作る」というものがあります。誰もが聞いたことがある言葉だとは思いますが、実体験としてとても身にしみました。学校や図書館で勉強するようになってからは家でも自然と机に向かえるようになり、初めは、昼休みや放課のような隙間の時間に勉強するのはあまり意味がないんじゃないかと思っていましたが、最後まで続けることで習慣の一つとなり入試を受ける時の自信に繋がりました。

これから受験を迎える皆さんが、自分で限界を決めず目標とする大学に合格することを願い応援しています。

#### 118 愛知教育大学 教育学部 中等教育教員養成課程 社会専攻合格

関西学院大学 文学部 文化歴史学科 日本史学専修合格 / 37回生 2018年(平成29年度)卒

勉強を今まで全然していなくて、焦っている人は少なくないでしょう。僕も三年の春まで部活に打ち込みすぎて、課題と予習で手一杯で、受験勉強の開始が遅れました。そんな受験勉強に遅れを感じている人向けにまず話します。

まず、部活を引退するまでは、予習や課題は欠かさず行いながらも、部活に重きを置いてください。後悔の残らない健闘をお祈りします。そして引退してから、自主的な学習をはじめると良いでしょう。ここで大切なのは、早期に自分にあった勉強を見つけることです。僕は苦手教科に取り組んでから、得意教科に取り組むといった形で一日を過ごしていました。こうすることで、苦手教科から逃げずに取り組むことができます。また、『理解→暗記→演習→復習』の順序を間違えないでください。遅れを感じて焦って、暗記から入り、量だけをこなそうとするのは、効果的ではないと思います。注意してください。

次に、僕は二次に地歴があったので、その勉強法を紹介します。まず、対策はセンター後で大丈夫です(ただし、赤本には事前に目を通しておきましょう。)。教材は、ベースとしての教科書に加えて、論述対策として河合塾の「考える日本史論述」を使用しました。後者を、先生に的確に添削していただいたので、試験本番で打ち勝つことができました。また、苦手意識のある小論文が受験科目にあったのですが、これも個別指導を校長先生に丁寧に添削していただいたおかげで、満足のいく仕上がりになりました。夏休みには小論文の講座が開講されると思いますので、積極的に参加してください。このように、僕は個別指導をたくさんしていただいたのですが、どの先生も嫌な顔一つせず、

全力でサポートしてくださったので感謝しています。

受験で、一番大切なことは、合格することではありません。やり切ったと実感することです。僕は、結果的には第一志望に合格できましたが、正直センター試験後だれてしまったので、少し後悔があります。たとえ、第一志望に合格できなくても、自信をもってやり切れたと実感できた人こそ受験の成功者であると思うので、この成功者を目指して精進してください。

#### 119 愛知県立大学 外国語学部 ヨーロッパ学科 ドイツ語圏専攻合格

／ 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

私が受験を通して学んだことをいくつか書きたいと思います。

まず、一つ目は、多くの参考書や問題集を併用するのではなく、自分に合ったものを見つけそれをしっかりとやりきることです。問題集を買っただけで満足したり、ただ膨大な量の付箋をつけたりしないようにしたほうが良いと思います。

私の場合は、夏休みの模試までに英単語を 1400 くらいまで覚えようと目標をたてていたのですが、気がついたらあと残り 1 週間しかない状況になっていました。焦りましたが、それから毎日新しい単語 200 個と、前の日に学習した単語 200 個を覚えるまでやり続けました。とても大変でしたが、その結果、模試では安定して約 8～9 割とれるようになりました。

二つ目は、得意科目があるからといって、苦手科目を補うことができると思わないようにしておくことです。試験のときに自分の得意科目の難易度が下がった場合は、ほかの受験生とあまり差がつかなくなってしまいます。大学によって傾斜配点が違うので、国公立大学を受ける場合、第一志望校を受けられなくなったときに他の大学に対応できなくなってしまいます。得意科目と同じように問題演習をするだけでは、なかなか思うように点数は上がらないので、早いうちに苦手分野・科目をなくすことが大切です。

三つめは、授業で言われたことを、できるだけその場で覚えるように心がけることです。特に文Ⅱでは科目数も多く早朝補習もあるので、自由に使える時間をつくるのが難しくなっていきます。ノートに書いて後で見直そうとしても、忘れてたり面倒になってしまったりするので、本当にその時に覚えられなさそうなことだけをメモしたほうが良いです。

最後になりますが、模試の結果が良くても悪くても、一喜一憂することなく第一志望に向かってがんばってください。A判定でも、油断すると落ちてしまうこともあります。逆にたとえD判定でも、試験の当日まで点数は伸びると思うので、最後まで諦めないでください。まだ1年あるので頑張れば第一志望に合格できると思います。応援しています。

#### 120 愛知県立大学 外国語学部 中国学科合格 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

受験で大切なのは、一緒に頑張ってくれる仲間と補習と時間だと思います。

仲間とは、クラスみんなもちろんそうですが、放課後同じ空間で勉強を一緒にしたり、連絡を取り合ったりして、支え合いながら頑張った仲間の力が大きく感じられました。僕は自分を含め4人のグループで、放課後や土日、学校で勉強を一緒にしていました。一緒にやっているとみんなの頑張っている姿が見え、負けられないなと思い、頑張れました。僕は私立は全て落ちましたが、国公立前期の試験日、そして中期の試験日までこのグループの子達の励ましで頑張れ、全員第1志望の大学に行くことが出来ました。

次に補習が大切だと思ったのは、本当に最後の最後まで先生方が力を貸してくださり、センター試験や二次試験に大きく役立ったからです。僕は1、2年生で朝補習を取っていたので、自分では進んで勉強をあまりできなかった理科を毎週朝から勉強することで力をつけ、センター当日では、力を発揮することができました。また、朝学習をセンター試験前までほぼ毎日通うことで生活習慣が崩れず、

センター当日では、朝から頭を働かせることが出来ました。業後の補習では二次力を高めることが出来ました。そしてセンター後の補習が一番キツかったけど、最後までやりきることで、二次試験当日焦らず対応できました。だから補習は休まずに、最後までやりきる大切だと思います。

最後に時間は本当に大切です。僕が後悔しているのは、リスニングと音読です。リスニングは私立で出題される大学もあり、サボっていたのでセンターでも私立の試験でも満足できるほどはできませんでした。音読は英語の先生が最初から言い続けていたことで、長文を読むためには必要だとセンター後の補習で感じました。これらを勉強するには隙間時間を有効活用するのいいと思いました。

時間をうまく使うことは受験の中でも必要なことだと思うので、計画をして勉強することが重要だと思います。時間は限られているので、時間をうまく使い第一志望合格できるように精一杯頑張ってください。

#### 121 愛知教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程 社会選修合格

／ 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

塾とか行っている人もいるかもしれないですけど、一宮南高校は業後補習や長期休暇の補習、センター前とセンター後の補習など充実した学習環境に恵まれているので、心配することなく与えられたものをちゃんとこなし、身につけることが大切です。塾と掛け持ちすると教材の数が増えてしまい、全てこなすことが難しくなります。学校での学習環境を効率的に生かす方がいいと思います。

国公立の赤本は夏休みからやってください。自分は前期試験の一ヶ月前からやって、なかなかうまく特徴をつかめませんでした。センター試験の勉強もありますが、平行して赤本を必ずやってください。私は勉強する内容を紙に書き出して、勉強内容を明確にしてやっていました。何を学び、何をしているのかがよく分かり、勉強のモチベーション向上にも繋がりました。また、携帯のアプリ〔スタディサプリ〕を使い、勉強の教科の比重や時間の管理をしっかり行うことで、自分の勉強を把握することができました。センター試験が近づいても、そのアプリを見ることで自信に繋がりました。

第1志望の大学をたとえE判定であろうとも諦めずに、目指してください。勉強の成果が出るのは3ヶ月後です。気にせず目標に向かって頑張ってください。私は第1志望の大学は、10月までE判定でしたが、目標を確かにして頑張ることで、センターではいい結果を掴めました。第1志望合格という目標を持つことは、必ず自分の成績向上につながります。

苦手な教科は、夏休みに必ず向き合い取り組んでください。11月頃に壁となるのは苦手な教科です。直前になると、なかなか苦手な教科に取り組むのは難しいので、必ず早くから取り組んでください。お勧めは苦手な教科の勉強を1番初めにやることです。私もまず家に帰ったら、制服のままとりあえず苦手な教科を15分だけでもやると決め、やりました。倫理が苦手でしたが、このおかげで、センター試験で97点とれました。小論文は夏休みから取り組んでください。私はセンター後から本格的に取り組み、失敗しました。夏休みから講座をしっかり取り、新聞の要約やテーマを決めて、継続的に行ってください。でも夏休みにしっかり取り組んでも、その後やらなくなると失敗します。

文Ⅱの人は、私大に合格する気持ちが私大に流れかけます。でも絶対に目標を見失わず、諦めずに頑張ってください。前期試験が終わったら直ぐに後期試験の勉強を最後まで頑張ることで、合格は見えます。後期試験までやり抜く事で、本当に合格を掴めます。ぜひ最後まで諦めないことを忘れずに、必要な全ての教科に取り組み頑張ってください。教科を絞ったり捨てたりすると、行く大学の選択が減り、中途半端になってしまいます。全ての教科に最後まで頑張ってください。

#### 122 静岡大学 情報学部 情報社会学科合格 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

私が受験生を終えて皆さんに伝えたいことは3つあります。

初めに、苦手な科目に向き合うことです。私は1年生の時から英語が苦手で、ようやく英語に真剣

に取り組もうと思ったのは2年生の3学期でした。まず、私が英語を克服しようと実行したことは、長文一題やヴィンテージ50問などの、一日で達成できかつ継続できる目標をたて、毎日かかさず行うことでした。さらに、長文をやり終えた後、自分で文構造を明らかにして、理解できるまで音読をしました。頭では理解しているつもりでも、音読をすると理解しきれていない部分がおのずと分かってきます。特に英語を苦手としている人はぜひ音読を行ってください。自分の苦手科目は簡単に成績が上がることはなく、毎日の積み重ねが大切です。報われるときは必ずきます。苦手科目から逃げず、自分を信じて勉強をし続けてください。

次に模試やセンターの判定が悪くても諦めずに最後まで志望校を目指すことです。模試は本番ではありません。本番で自己ベストが出せればいいのです。私は、センターで失敗し、二次試験の逆転はかなり厳しいと言われました。しかし、ここで志望校を変えてしまうと絶対に後悔すると思い、第一志望は変えず、逆転を目指してそれまで以上に努力しました。今までの勉強をそのまま継続するとともに、過去問を満点がとれるくらいまで解き、まだまだ苦手だと思う分野にたくさんの時間を割きました。そのおかげで第一志望に逆転合格することができました。受験では何が起きるかわかりません。第一志望に受かりたいという気持ちを強く持ち、どんなに厳しい状況でも粘り強く最後まで勉強を継続できさえすれば十分に合格の可能性はあります。今までの自分の努力に自信をもって頑張ってください。

最後に、勉強が楽しくて心が折れそうになった時は、一度立ち止まって周りを見渡してみてください。いつも私たちの味方でいてくれる家族や、受験に精通し相談にのってくれる先生方、そして一緒に頑張り励まし合える友達があります。一度相談してみるのもいいでしょう。必ず皆さんの背中を押してくれます。受験勉強は一人でしているものではありません。たくさんの方が皆さんを支えています。皆さんを支えてくださる方々と一緒に少しずつ前進していきましょう。

皆さんが志望校に合格できることを祈っています。

## 123 神戸市外国語大学 外国語学部 中国学科合格 / 37回生 2018年(平成29年度)卒

僕が伝えたいのは、3年生がすべきことです。

まず、春にはほとんどの人が部活を引退し勉強に力を入れることとなります。そこで必要なのは生活習慣を直すことです。体調が悪いと勉強ができず周りに遅れを取ってしまいます。ですから、早寝早起きをし、朝ごはんをとり、健康に気をつけましょう。

そして夏には様々な模試があります。結果に気をとられずに、模試の復習にしっかりと時間をかけ、わからないところを減らしましょう。夏休みにはとても多くの時間があり、補習もたくさんあります。大変ですが補習は休まないで出席することが大切です。たまには息抜きも必要ですが、切り替えをしっかりとして、いつまでもダラダラしないことが大事です。

秋には南高祭などがありますが、それはそれ。受験の方が重要です。楽しむときは楽しみ、勉強するときは勉強するといった、メリハリをきちんとつけましょう。模試では少しずつ成績が上がってくる時期ではありますが、目標は第一志望の大学に合格することです。たとえ良い判定が出ても、気を抜かずに努力しましょう。

冬にはよいよセンター試験が始まります。センター試験には独特の雰囲気があり、多くの人がそれに飲まれてしまいます。そうならないためにも、学校でのセンター対策では常に本番のつもりで本気で取り組みましょう。また、センター試験は2日間ありますが、初日に自己採点をしてしまうとその結果が良くても悪くても二日目に必ず悪影響が出てしまうので、絶対に自己採点はセンター試験が終わってからにしてください。そして、自己採点後にはすぐに自分の結果を客観的に受け止め、二次試験の対策に取り組みましょう。二次試験からは必要となる科目が少なくなるので、より多くの時間をかけられるようになりますが、それは他の受験生も同様です。少しの時間も無駄にすることなく、最後まで頑張り続けて下さい。

最後に、受験についてのことや、授業中にわからない問題があったらそのままにせず、先生に質問しましょう。先生には受験生よりもはるかに多くの知識、経験があります。先生方の力を借りて、自分にとって必要なことを沢山身につけていきましょう。以上です。

#### 124 愛知県立大学 外国語学部 英米学科合格 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

私が受験勉強で大切だと思った4つのことについて書こうと思います。

1つ目は志望校を決めることです。目標があると模試でどの科目でだいたいどれくらい取れるようになればいいのか目安が分かり、その大学に入るために頑張ろうとやる気が出やすくなると思います。

2つ目は計画を立てることです。センターまでまだ時間があるから大丈夫と思っている人もいます。私もそうでした。でも、あっという間に時間が過ぎていきます。毎日授業の予習に追われるばかりで、自分がその日のうちにしたいと思っている勉強もできませんでした。そこで、私はA4サイズのホワイトボードを買って、それに1週間の時間割としなければいけないこと(予習・課題など)としたいこと(英単語を覚えるなど)を書いて1週間の予定を立てた上で、その中での優先順位をはっきりさせることにしました。そうすることで、その日に何をすべきかを一つ一つ確認ができるし、やり終われば綺麗に消すことができるので達成感もありました。ただし、予定は余裕を持って立てることが大事だと思います。あまり張り切り過ぎて盛ると上手くいかず気分が上がらないので、少し頑張ったら達成できるぐらいの内容のものがいいと思います。

3つ目は毎日の授業と補習を大切にすることです。授業の予習と復習をすることが一番の受験勉強になると思います。予習にしっかりと取り組むことで授業の理解度がかなり上がり、何が分からないのかを把握することが出来て、先生に質問もしやすくなると思います。そして、その日のうちにノートやプリントの見直し、問題の直しをすることが知識の定着に繋がると思います。私はこの復習の大切さに気づくのが少し遅く、とても後悔しました。

4つ目は絶対に諦めないことです。私は初めの模試では第1志望はD判定でしたが、最後のセンタープレではAに上がり、センター本番では自己最高点をとることが出来ました。努力は必ず結果に現れます。諦めずに勉強し続けることが大切です。

これから大変なことが沢山あると思いますが、周りには頼りになる先生方や励まし合える友人たちがいます。みなさんが第1志望の大学に合格できることを祈っています。

#### 125 長野大学 社会福祉学部 社会福祉学科合格 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

わたしは受験生になって大切にしていたことが2つあります。

1つ目は自分のペースを保つことです。最初は、受験勉強として何をすればいいのか分かりませんでした。友達が毎日100語ずつ英単語を覚えているだとか、市販の問題集を買っただとか、さまざまな勉強法が耳に入ってきました。私は、最初のうちは予習復習などでいっぱいいっぱい他まで手が回りませんでした。このように人によってやれることは全然違います。そして、苦手なことや克服すべきことも全然違います。ですから周りにつられていろんなことに手を出すのではなく、自分がやれること、やるべきことを見極めてそれに向かって勉強するほうがいいと思います。これでいいのかと悩むこともあると思いますが、自分のペースでコツコツ勉強すれば結果は出ます。周りに合わせることも焦ることも必要ありません。自分を信じてください。

2つ目は諦めないことです。模試の結果が思うように上がらないことがあるかと思いますが、夏ごろから成績が上がる人もいるかも知れませんが、私の場合、勉強してきた結果が出たと思ったのはセンター試験後でした。結果が出る時期も人それぞれですので、成績が上がらなくても諦めないでください。模試の結果は「少し前の自分が試験を受けた時の結果」として受け止めてください。本番前最後の模試を受けた後も勉強し続けるので、学力は上がっていきます。特に冬休みの補習は、センター

試験に向けて練習するので力がつきます。諦める必要はありません。

3年生ではたくさん悩んだり苦しんだりすると思います。卒業式が終わっても学校にきて勉強する人もいますが、卒業後は本当にきついです。仲のいい友達が受験が終わって遊んでいる中、なぜ自分はまだ勉強しているのだろう、なぜ卒業したのに制服を着て学校に登校しているのだろうと何度も思い挫けそうになりました。しかしそんな時、生徒の人数が少ない分きめの細かい指導をし、気にかけてくださる先生方や、最後まで一緒に頑張っている仲間のおかげでやり抜くことができました。

受験生のみなさん、最後に後悔することがないように目標と強い意志をもって頑張ってください。応援しています。

## 126 名古屋大学 経済学部合格 / 37回生 2018年(平成29年度)卒

僕が受験期に心がけていたことの一つは、継続する事です。僕は家から近かったということもあり、2年生の冬頃から基本的に毎日一宮駅の図書館にある学習室に通っていました。初めの頃は部活で疲れていて、何度も心が折れそうになりました。しかし、一緒に通っていた友人のA君とお互い励まし合い、支え合いながら通い続けました。毎日少しでもいいからできることを見つけて、全く勉強しない日を作らない事が大切だと思います。

二つ目に、メリハリと勉強の質についてです。僕は中学生の頃から家で勉強することが苦手だったので、先ほど述べたように図書館に通っていたのですが、それと同時に授業を大事にしようと思っていました。できる限り授業からわからないことを引きずらないように授業に真剣に取り組んで、それでもダメだったら先生や友達にたくさん頼りました。ひとつ皆さんに伝えておきたいことがあります。それは、友達と教え合うことの大切さです。人に教えることで自分が理解できているか確認できるし、教わる側も自分が引かかる部分を尋ねやすいので、本当にこれはオススメします！そして、今この文を見てくださっている皆さんの中にもいるかもしれませんが、僕はあまり長時間集中が続かないタイプの人でした。「量より質」をいつも意識していました。やる時はやる、休む時は休む。それは単純なことのようにですが、とても難しくはあるけれども大切なことだと僕は思います。密度が濃く質の高い勉強をすることで、他の人たちに差をつけることができ、かつ適度にリラックスできる時間を作ることでストレスも溜まりにくくなると思います。

最後に、何より重要なのは心身の健康管理です。僕は、国公立の二次試験の2週間前にインフルエンザにかかってしまいました。いろんな先生に個別の指導をお願いしていたのですが、一週間丸々個別指導どころか家で勉強することもままならず、正直第一志望は厳しいだろうと思っていました。しかし、友達や家族、先生がフォローして励ましてくれたことで、やるだけやってみようと思ひ、当日も全力を出し切って、合格することができました。「最後まで諦めるな」という言葉は所詮綺麗事だ、と最初は思っていました。しかし違いました。奇跡はちゃんと起こせます。苦しい一年になると思いますが、皆さんも体調に気をつけて、頑張ってください。応援しています！

## 127 岐阜大学 教育学部 学校教育教員養成課程 美術教育講座合格

/ 37回生 2018年(平成29年度)卒

私は文Ⅱなので文Ⅱの皆さんに向けて書きます。

私の受けた学部の入試は、実技や面接がありました。私は昔から絵に関わる仕事がしたいと思っていたので、2年生の終わり頃から週2回のペースで絵の塾に通っていました。しかし3年生になると予習復習や補習の量は格段に増え、3時間絵の塾に行って絵を描いていたので、時間に追われる毎日でした。効率よく勉強するためには、毎日の積み重ねが大切だと思います。私はバス通学だったので、行きは古典単語、帰りは英単語などと決め、通学時間を有効に活用したり、7時半からの朝学に

は毎日欠かさず出席し、そこでは出されていた数学の「1日1題」の問題を解きました。

それでも私は、睡眠は必ず最低5～6時間はとっていました。眠い時は寝る。これが1番大事だと思います。眠い時は勉強しても頭に全く入ってこないからです。

実技は美術に限らず、たくさん練習すれば大丈夫だと思います。私は試験で描く絵を何回も繰り返し描いて、目をつぶってでも描けるくらいのレベルまで練習しました。

模試の判定に惑わされず、自分の意思をしっかり持ってください。進路に悩んだら先生だけでなく、周りの友達にも相談すると気が楽になります。受験は団体戦だとこの1年で強くそう思いました。文Ⅱに来たからには、最後の最後まで国公立大学合格を目指して頑張ってください。応援しています！

#### 128 金沢大学 人間社会学域 法学類合格

南山大学 法学部 法律学科合格 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

僕は、自身の失敗や経験から、3つ気を付けて欲しいことを記したいと思います。

1つ目は、苦手教科はそのままにしないことです。僕自身も最後まで数学に苦しみ、センターでもかなり足を引っ張られてしまいました。同時に意識して欲しいことは、得意教科の得点の維持です。特に英語は毎日触れると良いと思います。

2つ目は、センター後に気を抜かないということです。センターが終わると、補習が始まるまで少し期間が有ります。その間に気を抜かず、二次試験に向けての勉強を始めることが大事だと思います。

3つ目は第1志望大学を最後まで変えないことです。僕自身は、センターリサーチで第1志望の金沢大学の判定がC、第2志望の三重大学がAで、不安が有りました。しかし、後悔をしなくなかったので、第1志望の金沢大学を受けました。この時に自分を信じられたのは、あんなにも自分は努力したのだからという自信があったからだと思います。自分を信じ抜ける様な努力をして欲しいと思います。

最後に、僕の支えになった言葉を贈ります。

『人は限界だと思ってからもうちょっといける』

最後まで自分の夢に向かって走り続けてください。応援しています。

#### 129 愛知教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程 国語選修合格

/ 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

私は3年生になった時、基礎である単語力が全然足りていませんでした。ですから、ターゲットや古文単語をいつでも覚えられるように必ず携帯して、お風呂に入っている時間も無駄にせず暗記のために使いました。なかなか覚えられない単語はメモに書いて机の前の壁に貼り、常に目に入るようにしていました。

また、私はずっと数学が苦手だったので単語と同じように公式を壁に貼ったり、授業の予習復習と模試の復習をしっかりしていました。同じ問題を何度も解くことで、見るだけで解き方が分かるようになり、初見の問題も解けるようになっていきました。

勉強法があまりよく分からない人もいると思います。でも、授業をしっかり聞いて入れがそのポイントが分かります。何回も受験を経験している先生方は、ポイントをおさえた上で授業をしてくださっているため、集中して授業を聞き、先生が言ったことを全部その場で覚えるぐらいの気持ちで授業を受ければ、効率良く学習できます。

そして補習の予習はとても大変ですが、予習しないで受ける補習に意味はないと思っています。自分で英文を読んで知らない単語や文構造をチェックすること、数学の問題で解き方を探ること、国語の記述の答えを用意し、助動詞や助詞の意味の確認をしておくこと、これらの準備が自分の中でとても大事だと思います。その準備をした上で先生の話の聞き、自分の答えが正しかったかどうかの確

認をしてください。補習の予習復習が多すぎて自分の勉強ができないと思うかもしれませんが、どうせやらないといけないことなので自分にとって有意義な時間になるように工夫して、自分の勉強の一部だと思って本気でやってください。補習を生かすも殺すも自分次第だと思います。

私は夏の模試からどんどん点が取れなくなっていました。諦めずコツコツ勉強していたら本番ではセンタープレテストより100点以上良い点が取れました。センターは何が起こるか分かりません。でもだからこそ、私のように本番が1番良い点だったということもありえます。自分を信じて、仲間や先生を信じて、後から振り返った時に自分を褒めてあげられるような1年にしてください。

**130 愛知教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程 幼児教育選修合格**

**／ 37 回生 2018 年(平成 29 年度) 卒**

これから本格的に受験勉強に取り組んでいく皆さんに、ぜひ心に留めておいてほしいことがあります。

まずは、授業の予習・復習を真剣に取り組む習慣をつけてください。この1年は、とても長いようで、本当にあっという間に過ぎてしまいます。だから、何をやるにしても、+αやるつもりで濃く取り組み、効率よく勉強することの大切さを皆さんに伝えたいです。予習・復習は、効率よく勉強をすすめる絶好の機会なので、この時間を決して疎かにせず、むしろこれが受験勉強だと思って取り組んでほしいです。

次に、全ての教科を完璧にしようと思わないでください。受験の中で一番大切なのは、自分を追い詰めすぎないことです。自分のできる範囲以上のことを求め続けても、変な不安と焦りしか生まれません。あくまでも苦手科目は苦手科目だと割り切って勉強してください。目標は高く持ち過ぎず、平均取れば十分、くらいでいいです。その分得意科目や伸びが見込める教科には最後まで全力を注いでください。危機感をもつことは大事ですが、あまり過剰になりすぎるのも良くないと思います。何事もバランスが大事です。

私は、センター本番まで点数が一向に伸びませんでした。模試では毎回同じくらいの点数しか取れず、センターが近づくにつれて、不安と焦りでいっぱいになりました。第一志望校を諦めようかなとさえ考えていました。でもクラスみんなが必死に勉強している姿をみて、私も最後まで頑張ろうと思うことが出来ました。受験は個人戦でもあり団体戦でもあります。勉強は自分で頑張るものですが、そのやる気を奮い立たせるのは、やっぱり友達やクラスみんなの存在です。みんなで頑張ってください。皆さん全員が第一志望校に合格できることを祈っています。

**131 愛知県立大学 外国語学部 国際関係学科合格**

**南山大学 経済学部 経済学科合格／ 37 回生 2018 年(平成 29 年度) 卒**

私が自分の受験勉強を振り返って大切だと感じたことを話したいと思います。

まずは何より、できるだけ早く受験勉強のスタートを切ることです。私が受験勉強を本格的に始めたのは2年生の冬でした。その時点ではまだ各教科の基礎ができていなかった私にとって、一年間は思ったよりも短かったです。まだ受験勉強を始めていない人も、時間は限られていることを意識して、日々の授業や課題を大切にしてほしいです。

次に、苦手科目の克服です。本番で取れると思っていた科目で失敗することもあるし、逆に苦手科目で基本的な問題が多く出て意外と点数が取れることもあります。本番何があるかわからないので、絶対に合格したいなら、得意科目だけに頼るのではなく、苦手科目を克服する努力をした方がいいと思います。私は数学が特に苦手だったのですが、家だと気が乗らなくて後回しにしがちだったので、放課後はブラウジング室に残り、まず数学から勉強を始めるように決めていました。学校に残って勉強をすると周りも勉強しているので気が引き締まるし、分からない問題を先生にいつでも聞けるので

よかったです。

最後に、模試の判定が悪くて落ち込むことがあっても、途中で諦めないことです。私は結果として第一志望の大学に行くことはできませんでしたが、センター試験まで志望校を下げなかったことで、常に全力で頑張れたのだと思います。勉強した分が確実に結果に出るとは限らないので、不安になったり諦めなくなったりすることもあるかもしれませんが、最後の最後まで成績は上がるし、失敗しても他の道はあるので、自分を信じて勉強を続けてください。

私が受験生として過ごした一年間、つらいことも多かったです。が今となっては良い思い出です。いつでも相談や質問に答えてくださった先生方には感謝しています。みなさんも、あとから後悔のないように、時間を大事にして精一杯がんばってください。応援しています。

### 132 三重大学 人文学部 法律経済学科合格

#### 南山大学 経済学部 経済学科合格

#### 経営学部 経営学科合格 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

僕はもともと家から通える国公立大学に行ければどこの大学でもいい、と思っていました。ですから1年生のときからテスト期間中だけはしっかり勉強をしていました。しかし、テストの成績が上がる嬉しくてもっと良い成績をとりたいと思い始め、成績はどんどん上がっていきました。そして、2年生の後半に自分の志望大学を決めました。結果的にはその大学は落ちてしまいましたが、家から通える国公立大学には受かることができました。

僕が勉強をする上で最も大切にしていたことは質です。もちろん量は大切ですが、質がよければその分短時間でいろいろな教科の勉強をすることができます。例えば、僕の場合勉強をするときは時間を決めて、その時間だけはしっかりと勉強に集中します。しかし、自分の設定した時間も普段からあまり勉強していないのに、いきなり長時間設定すると絶対に集中することはできません。数日は集中できたとしても長くは続かないでしょう。なので勉強をしよう、と思っただけで15分でも20分でもいいので机に向かって勉強をしようとしてください。慣れてくると長時間の間、勉強に集中することができます。

また、効率よく勉強を進めるためには教科ごとに勉強方法を変えることも有効だと思います。僕の場合、英単語を覚える場合、3回書くより10回音読した方が有効でした。もちろん、その勉強方法が合わない人は書いて覚えるのもいいことだと思います。ただし、だらだらする時間は絶対に無くした方がいいので、短時間で音読して覚える方が効率的だと思います。数学や理科などの理系科目は、問題を見てほしいわかったと思っても、僕は途中式も答えも紙に書いてしっかりとした解答が書けるまで同じ問題をやりました。効率良く勉強をしようとしても勉強したことを忘れては意味がないので、どうやったら自分が解き方を覚えられるかということを工夫しながら勉強することも大切です。

僕は勉強はやり方さえ間違えなければ誰でもある程度はできるようになると考えています。「私は頭がよくないから」、「僕は部活をやっているから」と言って勉強をしない人もいますが、それは言い訳です。実際、他人より努力したり、勉強と部活を両立したりして志望校に合格している人もいます。勉強法は友達や先生に聞くのも良いですが、自分で自分に合った勉強法を見つけることが重要だと僕は思っています。自分に合った勉強法を確立して、合格を勝ち取ってください。

### 133 三重大学 人文学部 法律経済学科合格

#### 南山大学 経済学部 経済学科合格 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

私は今とても満足しています。それは第一志望の大学に合格したからということだけではありません。自分の中で最後までやりきることができた、と言えるからです。正直高校受験のときはほとんど勉強していなくて、なんとなく受かったという感じでした。しかし大学受験は違いました。高校受験

のようになんとかでは受からないと気づいたのは、3年生の春の模試で納得いく点数が取れなかった時です。私は野球部だったので部活を引退するのがみんなより遅かったのですが、その時に気づいたおかげで、夏に部活を引退してすぐに切り替えることができました。夏休みにはみんなとの遅れを取り戻すために基礎を固めたいと思って、模試などでも点数にはこだわりませんでした。というよりもともとが低かったので、夏休みの模試でも点数は上がりましたが全く実感はありませんでした。秋の模試でもそこそこ点数がとれて自分では順調だと思っていたのですが、12月のセンタープレテストで初めて壁にぶつかりました。秋よりもかなり成績が落ちてしまって、どうすればいいのかと悩むこともありました。しかし、冬休みのセンター対策講座で問題を数多くこなしたことでセンターの練習もできた上に、復習にも利用することができました。また、このセンター対策講座によってある程度力がついているということも確認できましたし、自信にも繋がりました。さらにセンター1週間前まで対策があったので、自信をもったままセンター本番に入ることができました。センター直前には今までやってきた復習をひたすらやりました。これは復習という意味合いもありますが、自分がここまでやってきたことを振り返って自信をつけるということが重要だと思ったからです。その結果、センター本番では自己最高点をとることができました。そしてここでいい点をとったおかげで、国公立の二次試験に向けて気分が楽になりました。国公立という狭き門に挑戦できる人も限られていく中で、勉強することが辛かったこともありました。最後までやりきることができました。

私は、大学受験で大切なことは、合格することだけではなく、最後まで自分で努力することだと思っています。そして、もうひとつ重要なことがあると思います。それはライバルを見つけることです。私は文Ⅱだったので、周りにいる自分より勉強ができる人と仲良くしていましたが、勉強ではお互い競い合えるいい関係でした。そのようなライバルの存在が自分をもっと高めてくれました。

新3年生の人達はこれから大変になると思いますが、1年後の受験が終わって成長した自分を想像して、自分の努力で未来を掴み取ってください。

#### 134 愛知県立大学 外国語学部 ヨーロッパ学科 フランス語圏専攻合格

／ 37回生 2018年(平成29年度)卒

私は受験生になってから「Studyplus」という勉強時間を管理するアプリを使っていました。平日は6時間、休日は10時間を目安にして毎日記録していました。どの教科をどれほど勉強したのかが後から見た時に分かりやすく、あまり偏りすぎることなく勉強することができました。友達と勉強時間を共有することもでき、少しだらけてしまった次の日には友達から「なにしてたの？」と怒られたりする日もありました。勉強時間がすべてではないと思いますが、友達と励まし合いながらやることで圧倒的に勉強時間が増え、効率よく勉強を進めることが出来ました。一緒に頑張れる友達がいることは本当に大きな力になると思います。

そして、私が続けて良かったと思うことは、朝学に毎日参加することです。もし1年間朝学を続けたら、他の人より少なくとも150時間は差をつけることができます。放課後は進路資料室へ行き、最終下校時刻まで勉強していました。

朝から夜まで本当に辛かったですが、これを当たり前にすることが大切だと思います。また、補習も必ず出てください。次第に補習を休みがちになる人が出てくるとはありますが、続けることが自分の自信となるので、周りに影響されることなく出ることが大事だと思います。

そして私が最も伝えたいことのひとつは、早めにリスニングの勉強を始めることです。リスニングの勉強の仕方が分からないという人もいるかもしれませんが、私が先生にオススメされたのは、聞こえてきた単語を、その影を追いかけるように繰り返して言うシャドーイングです。私は秋頃から、本格的に始めましたが間に合いませんでした。春から毎日英語を聞いて耳を慣れさせることが大事だと実感しました。私は勉強の休憩時間やドライヤーの時間、お風呂の中などの隙間の時間を使って聞いていました。内容は、英語を喋っていれば何でもいいと思います。TEDやYouTuberのバイリンガールち

かさんの動画は英語だけでなく他にも勉強になるのでオススメです。

もう一つは、私は日本史選択でしたが、日本史は必ず毎日復習してください。私の場合、なかなか点数が上がらず秋頃になって必死にやり始めましたが、センターではあまり良い点は取れませんでした。とにかく量が多いので、毎日コツコツやることこそがセンターで良い点数をとる秘訣だと思います。1年間本当に辛いと思いますが、たった1年です。終わってみればあっという間です。今やらないと、必ず後悔します。

第一志望に合格できるように頑張ってください！

### 135 愛知県立大学 外国語学部 ヨーロッパ学科 スペイン語圏専攻合格

／ 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

私が受験を乗り越えるのに大切だと感じたのは、やはり一緒に頑張れる友だちです。3年生になったら最初に朝学が始まります。1、2年生では門限遅刻を多々してしまっていた私にはすごく辛かったけれど、友だち3人と一緒に、初日から行こうねとはりきって行き始めました。同時にその子たちと放課後最終下校時刻までブラウジング室で残ることも始めました。ひとりの子が「今日は帰りたい～」と言っても、「早く行くよ!」と言って手を引っ張り励ましあって通い続けました。その子たちにはとても感謝しています。それから、センター前などになってくると学校に来ない人が出てくると思います。長期休暇の補習をサボる人も出てきます。自分も家で自分の勉強をしたいと感じるかもしれませんが、そこでそういう人たちには影響されず、頑張って学校へ行くことが大切だと思います。1回サボってしまうとサボりがちになってしまうし、クラスメイトのモチベーションを下げてしまいます。学校へ行けば友だちも頑張っていていい刺激になるし、毎日補習へ行ったことが自信に繋がります。学校をサボりがちな人や勉強せず遊んでる人に振り回されるのではなく、身近で頑張っている人をみて自分も一生懸命勉強することが、合格につながると思います。

また、スタディプラスという、勉強時間を記録して友だちと共有できるアプリを友だちと利用していました。どの教科に何時間かけているか、友だちはどれくらい何をやっているかなどを見ることができて、負けたくないという闘争心を燃やしたり、サボった日には友だちに怒られたりして、記録を続けました。夏休みには補習をいれて1日10時間勉強する事を目標に頑張りました。お盆期間に10時間勉強するのはとても辛く、なかなか出来ませんでしたが、みんなの記録に刺激されながら、10時間できなくても全くサボる日はありませんでした。

受験の終わりが近づくにつれて、友だちの大切さに気づきました。受験生の間はとても長く感じる1年ですが、終わってみれば本当にあっという間です。自分が頑張ることで影響を受けている人がいる事を忘れず、みなさんもぜひ友だちと励ましあって精一杯頑張ってください。応援しています。

### 136 愛知教育大学 教育学部 教育支援専門職養成課程 心理コース合格

南山大学 経済学部 経済学科 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

1学期は特に苦手科目の基本をしっかり理解することが大切です。私は英語が苦手だったので、授業で自分が分からなかった用法やイディオム、単語などはメモをして、家で復習するときに活用していました。また日本史や世界史などの暗記科目も、覚えるのが苦手な人や1、2年生の時に力を入れて勉強しなかった人は、早めに基本だけでも覚えるのがいいと思います。ただこの時期に覚えてもすぐ忘れてしまうので、何度も繰り返し、覚えたか確認する必要があります。コツコツと根気よくがんばりましょう。数学は苦手でも得意でも、ひたすら問題を解くのがいいと思います。たくさん量、難易度の高い問題ばかり解くのではなく、1日1題、難易度は低めのものからやや高いものまでバランスよく解くことをお勧めします。がんばりすぎない程度で自分の苦手なところを見つけられるように、毎日続けることが大切です。

夏休みは、とにかく暗記です。確認しながら覚えられる時間のゆとりがあるのは、夏休みが最後といっても過言ではありません。

2学期は応用と演習です。どうしても授業や補習の予習・復習で手一杯になりがちですが、二次試験対策もできる余裕のある人は早めに始めた方がいいです。私はできなかったのが後悔しています。

冬休みは本番形式の演習です。過去問も解くといいと思います。

1学期、2学期を通して、模試の解き直し、古文単語や英単語を覚えることは継続的に続けるべきです。考査も手を抜かない方がいいです。

そして参考書ですが、私はセンターの過去問以外1冊も買っていません。授業・補習等で先生方は必要な教材を用意して下さります。また自分で選んで買う参考書より、何人もの受験生をみてきた先生方の選んだ教材の方が信用できると考えました。それに、何冊も参考書を解くより学校で買った問題集1冊を完璧にできるまで解く方がいいと思います。センターの過去問については、私は自分の得意科目と苦手科目の2冊を買いました。

次に補習ですが、早朝・業後補習、ドリカム、長期休暇補習、すべて参加すべきです。私はすべて休まずに行きました。休んだ分、他の人と差をつけられると思って参加してください。

最後に、私は私たちのために授業や補習、教材などの用意をしてくださる先生方の姿を見て頑張ろうと思えました。先生方はどんな時でも、私たちを支えて励まして下さいます。不安になった時は先生方を頼ってみてください。とても頼りになります。

#### 137 富山大学 工学部 電気電子工学部合格 / 37回生 2018年(平成29年度)卒

僕が受験を通じて在校生の皆さんに伝えたいことは次の4つです。

1つ目は、「最後まで諦めず頑張る」ことです。僕は模試を重ねるごとにどんどん点数は下がっていき、センター試験直前の模試は過去最低点でした。僕と同じように結果がついてこない人はこれから出てくるはずですが、でも諦めないでください。12月初めの模試からセンター試験当日まででも、100点以上は十分に上げられます。

2つ目は先生の「さりげないアドバイスを実践する」ことです。例えば「暗記科目は12月からでも点がとれる!」とか「センターも近いけど2次対策の勉強もしとけよ!」などです。受験が終わらないとわからないことなど、先生はたくさん教えて下さいます。しかし、センター試験や2次試験が終わってからしかわからないことがあるので、その場で意味がまだ分からなくても、先生のアドバイスは聞き入れておくのとよいですよ。

3つ目は、先生が授業中に使う「技」を習得し、自分のものにして下さい。例えば、数学でいうと、最小値の求め方がたくさんあります。その時にどの方法が一番楽で、他にどんな方法があるのかを先生から教えてもらえます。そういった技を理解して使うことができるようにして下さい。

4つ目は絶対に「受験の壁を破壊」して下さい。僕の場合、勉強をしてもなかなか点数が上がらないという壁にぶつかりました。友達、先輩、先生など、様々な人に解き方のアドバイスをもらいました。その中でも、先生からもらった「いつも急いで解いているように見えるから、最初は怖いけどゆっくり解いてみたら?」というアドバイスで、点数が急激に伸びました。

壁にぶつかってどうにもならない時は、いろいろな人にアドバイスをもらい、その中で、自分に合ったアドバイスを吸収していくのが良いと思います。

#### 138 前橋工科大学 工学部 社会環境工学科合格 / 37回生 2018年(平成29年度)卒

受験生の1年間は長いと思うかもしれませんが、本当にあつという間に過ぎます。まず受験の山場は夏休みです。夏休みは、英単語と苦手科目の克服を重点的にやるべきだと思います。単語を覚えると長文がどんどん読めるようになります。実際に私も最初は長文はほとんど読めませんでした。でも

英単語を覚えてからはスラスラと読めるようになり、点数も上がるようになりました。センターでは英語の長文の配点が高いので、絶対取るべきだと思います。そのためにも単語は毎日欠かさずやるべきです。また、夏休みが終わってからも、単語を覚え続けないとすぐに頭から抜けていってしまいます。本番当日の朝まで毎日やってください。

苦手科目の克服は夏休みが最後のチャンスだと思います。まだ間に合うと思っても秋からセンターまではすごく早く感じるし、他にもやるべき事も増えるので、夏休み中に克服しておくべきです。また、補習はちゃんと受けるべきです。補習の予習と復習は欠かさずやってほしいです。復習は何をやっているかわからない人も多いと思いますが、物理はその日にやった問題を他のノートに問題を写して、わからなかった問題をもう一度解き直しました。そのときに自分があとから見返した時にわかるようにするといいと思います。物理の苦手な人はぜひやってみてください。

私立入試が終わると周りの子達の受験が終わっていき、自分も早く終わりたいって思うかもしれませんが、でも周りに流されないで最後まで頑張ってください。最後まで先生達を信じてついていけば、その分結果もついてきます。

私は何度も進路に悩みました。「やっぱりこっこの学部がいい」「これは嫌だ」とか言わず迷って、たくさん担任の先生を困らせましたが、先生や友達にたくさん話を聞いてもらって進路を決めることが出来ました。悩んだ時は周りを沢山頼ってください。きっと力になってくれる先生や友達があります。受験は団体戦です。最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています。

#### 139 滋賀県立大学 工学部 材料科学科合格 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

これが少しでも皆さんの参考になればと思います。

自分が受験勉強を始めたのは、5月頃でした。まず、最初に始めたのは毎日朝早く学校に行って勉強することでした。朝早く行くと人も少ないので、集中して勉強することができました。自分は夜型ではなく朝型だったのでこれが合っていたのだと思います。生活リズムを整えることも大事だと思います。授業中寝てしまわないようになるべく早く寝ていました。僕は家では集中して勉強できなかったのですが、業後補習やドリカムの後、一日休みの日はiビルに行くようにしました。そうしたら、自然に勉強時間が増え、それを習慣にすることができました。

あと大切なのは、学校を休まず授業や補習に参加することです。やはり一人でずっと勉強しているとどこかで行き詰まったりしてしまったりすることがあります。でも、学校には一緒に勉強を頑張れる仲間がいます。自分も勉強で辛かったとき友達と話すことで気持ちが楽になりました。受験はひとりの力ではなく、周りのおかげで成功したと思います。

自分は、後期を受けるか悩んでいたまま前期を受けて、悪い意味で判定をひっくり返してしまいました。ですから、良い判定が出ていても油断はしてはいけないと思いました。

後期は、前期で受かった人が抜けていたり、判定がとても厳しかったり、精神的にとっても辛かったです。でも、ここまで来たらとにかくやるしかないと思って、いろんな友達に励まされ、頑張るための気力をもらいながらとにかく必死でやりました。

その結果、判定をひっくり返して合格することができました。正直、受かるとは思ってもみなかったのですが、何事も最後まで一生懸命やってみるものだなと思いました。やる気と努力次第で何とかなると思いました。

受験生の皆さん、これからの一年間はととても大変な一年になると思いますが、妥協せず、悔いの残らないように皆さんの志望する大学に向かって最後まで頑張ってください。応援しています。

#### 140 岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 防災コース合格 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

僕の大学合格までの道のりには「失敗」も「成功」もありました。

まずは「失敗」についてです。1つ目は、空き時間を有効に使えなかったことです。普段の学校生活には、空き時間がたくさんあります。今となってはその時間にできた勉強がたくさんあったと思います。例えば英単語や公式を覚えるなど、暗記教科の伸びは空き時間の勉強量に比例すると思います。空き時間を自分自身に足りていないものに費やして有効に使うといいと思います。2つ目は、苦手教科の対策が遅くなったことです。僕自身は苦手教科の勉強ではなく、得意な教科の勉強に重点をおいでいました。しかし、センター演習を重ねるうちに、他教科ではカバーできていないことに気づき焦って勉強しました。苦手教科の対策は早めにしてください。

次に「成功」についてです。1つ目は、分からないところがあつたときに分かるまで先生方に質問したことです。どんなに簡単なことでも先生方は丁寧に答えてくれます。少し恥ずかしいかもしれませんが、分からないままにせず、すぐに理解することが大切です。復習も忘れずにしてください。2つ目は、受験生になったら絶対に言われる言葉「受験は団体戦」を実行できたことです。僕はこの言葉はとても大切なことだと思います。実際、心が折れそうになったりやる気がなくなったりしたときに、励まし支えてくれたのは周りにいた友達でした。お互いに支え合うことで乗り越えられる壁は多くあります。3つ目は、自分の中で絶対に守りきるルールを決めたことです。僕は、自分で決めた「学校と補習を休まないこと」と「楽しむときは楽しみ、やるときはやること」の2つのルールを守りきりました。3年生になると、色々な理由で学校を休みたくなることがあります。しかし、そこで休んでしまうと、すぐに授業や補習の内容についていけなくなります。多少無理をしても、学校には行った方がいいです。楽しめる場面も少なくはなりますが、その少しの場面でしっかり楽しむことでストレスが解消でき、学校へ行く気になったりします。

最後に、辛い1年になりますが最後までやりきって、後悔のないようにしてください。頑張ってください。応援しています！

#### 141 福井大学 工学部 電気電子情報工学科合格 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

僕が思う受験勉強において大切なことを3つ紹介します。

1つ目は自分の勉強方法を見つけることです。自分の勉強方法がわかれば集中が切れることが少なくなり、勉強の効率も上がります。これは1つの例ですが、僕は人に教えるという方法で勉強しました。人に教えるためにはそのことを完璧に理解しなければなりません。自分が理解しているつもりでも、教えている最中に止まってしまったり、相手にツッコミをいれられたりすることで、自分の足りていない部分を知ることができ、密度の濃い勉強をすることができました。

2つ目は先生をとことん利用することです。先生の時間はどんどん使いましょう。先生方は自分たちが理解するまでつき合ってくれます。先生の中には「自分の時間を使ってくれることほど嬉しいことはない」と言ってくれる先生もいるくらいです。しかし、先生に質問をしに行くことが苦手な人もいます。そんな人はとりあえず死ぬ気で補習についていきましょう。ドリカム以外に参加希望制の補習が行われることがあります。最初はやる気がありますが、だんだん勉強がたらくなってきたり、心が折れて補習に来なくなる人がいます。しかし、受験生に心が折れている暇なんてありません。なにがなんでも一度もサボらずについていくことが大切です。

3つ目は精神面に気をつけることです。受験生は成績が伸びないことや周りに置いて行かれている気がするなど多くの不安が襲ってきます。受験は団体戦という言葉をよく聞くとありますが、僕はずっとそんなの嘘だと思っていました。しかし、勉強に疲れてどうしても心が折れそうになった時、助けになったのは友達の前向きな姿勢と「頑張ろうぜ」という言葉でした。ちょっと気恥しいかもしれませんが、心が折れかけている友達がいたら元気づけてあげてください。

他にも大切なことは山ほどありますが、1、2年の時は国公立なんて夢のまた夢だった僕が受験生として一番大切だと思うことは、決して諦めないことです。今までで一番長く辛い一年に感じるかもしれませんが、頑張ってください。

僕が受験において大事にしていたことを伝えたいと思います。

まず、「受験は団体戦」という言葉を心に留めておいてください。友人の存在はこれから先、とても大きいものになると思います。時には同じ学校の仲間として助け合い、また時には同じ大学を目指すライバルとして切磋琢磨し合えるような友人、そんな人をぜひ見つけてください。

次に何事においても自分なりのやり方を見つけてください。これは主に生活リズムと勉強法に関わることだと思います。色んな人から勉強法とかについて話を聞くことがありますが、結局それを実行するのは自分です。自分に合った方法じゃないと長続きしないと思うので、早いうちに自分に合ったものを見つけられるといいと思います。例えば僕は、早起きが苦手だったので、補習の日以外はあまり朝学には行けませんでした。その分夜寝るのを少し遅くして勉強をするようにしていました。ですが、まあもちろん早寝早起きするのが一番いいと思うので、早いうちからそれを心がけて、慣れていくことをお勧めします。

また、集中が長続きしないタイプでもあったので、家では短い時間集中して、「勉強する→休む」を繰り返すようにしていました。休んでいる時は、ぼんやりと単語帳とかを眺めているようにしていました。結果としてその方法は自分に合っていたと思います。このように自分に合った勉強法を確立できるといいと思います。自分にどんな方法が合っているかわからない人は、まずいろんな人の真似をしてみるといいと思います。その中で自分に一番合ったものを採用して、自分のものにしていくください。どんなに遅くても南高祭が終わるまでには確立しておきたいですね。

最後に、努力し続けてください。とは言ってもこれはとても大変なことで、難しいことだと思います。努力すれば必ず報われるとは言いきれません。ですが努力しなければ報われることはないと思います。必死にもがいて、自分の望む結果を掴み取ってください。

受験勉強はとても辛く苦しいものになると思います。ですが、この1年で得られるものはとても大きな財産になると思います。みなさんの受験が上手くいくことを願っています。

#### 143 山口大学 工学部 感性デザイン工学科合格 / 37 回生 2018 年(平成 29 年度)卒

私は理系の物理選択でした。そして勉強法はきっと他の人が良いことを書いていてくれると思いますので、私は受験生として「前もって知っておきたかったな～」と思ったことを書きます。些細なことかもしれませんが、あくまで一個人の意見です。

・部活は最後まで続けていても大丈夫です。

春の大会までの部活で補習を休んだり、大会と模試の日程が近くてしんどい時もあると思いますが、夏の模試では差は無くなります。

・参考書などはあまり買わなくても大丈夫です。

私は赤本以外にあまり買っていないです。学校からたくさんの教材をもらったのでそれを解いていました。また、センター前になると対策講座用に演習問題を学校で買うのでそのことは覚えておいてください。

・朝補習は取ることをオススメします。

特に私のように朝に自信がない人にオススメです。絶対に遅刻と無断欠席はしてはいけませんよ。

・目が悪い人は自分に合ったメガネを。

特に数学の授業は自分達で板書をするので、文字が見えないことが多くありました。また物理地学教室などの大きな教室を使うことが多いので、後ろからでは字が見えません。なので早めに自分に合ったメガネを用意することをオススメします。

- ・大学からの資料請求はお早めに。

大学案内などは必要な日の1週間前には資料請求をしないと届くのに結構時間がかかるので要注意です。

- ・証明写真は多めに頼む。

これは人それぞれだと思いますが私の場合は多めに買ったはずなのに足りなくなり、個人的に撮りに行くことになりました。目安としてセンターの受験票には2枚、私立は「受ける日数×1」枚、国公立は1校につき1枚。あくまで目安です。

- ・寮の申請はお早めに。

これは私が実際に失敗した話ですが、寮の申請が合格発表前にある場合があるのできちんと調べてください。

それでは1年間受験を頑張ってください。

#### 144 名古屋工業大学 工学部 電気・機械工学科合格

諏訪東京理科大学 工学部 機械電気工学科 / 37回生 2018年(平成29年度)卒

「何を始めるにも『遅い』ということはない」という言葉がありますが、これは受験勉強にも当てはまるもので、例えば「自分の苦手な分野が新たに発覚した」だとか、「効率の良い勉強方法を知った」だとか、「今まで疎かになっていた単語の勉強をし直そう」だとか、そういった場合、その方向転換を躊躇なくできればいいのですけれど、大抵の場合、時間を理由に何も始めないままになってしまう人が少なからずいるかと思います。しかし、試験直前というその瞬間を実感してみると、案外時間というのは豊富にあったことに気がつきます。特にセンター試験の時なんかはそうでした。

試験一週間前になって焦って詰め込む、情報量を増やす、なんてやり方は、言わずと知れた悪手でしょう。しかしモノの種類によっては1か月、あるいは2、3週間前くらいまでなら、まだ手をつけるチャンスがあるかと思います。理系で言えば化学の無機分野とか、倫理とか。暗記分野は何度も繰り返すのが定石ですが、その作業を面倒くさがってないがしろにしてしまう人も多いでしょう。しかし、覚える最初の一巡目がいつであろうと、やらないよりは遥かにマシです。夏休みなら確実に間に合います。10月に入ってからでもまだ間に合います。12月？ まだ1か月もあるじゃないですか！ やらないよりマシです。それだけは念頭に置いて勉強してください。

それと、勉強をするとき、モチベーション管理というのは非常に重要になってきます。残念ながら僕は『大学合格』みたいな目標に対しては、大してやる気が長続きしないタイプでした。なのでその代替策としてですが、多少ナルシストめいた状態で勉強に臨んでいました。例えば英語。覚えることがたくさんあって大変かと思えます。しかしもっと単純に考えて、その時だけ「英語喋れたら格好良くない？」くらいに思っておけばいいです。気が楽です。自分の好きなゲームの台詞なり何なり使って例文を作ったりしたらすぐ定着します。「外国人の友達を作るとすぐ言語が上達する」というのと似たようなものです。

勉強するときには少し楽な考え方をしてしまうのも一つの手です。手は抜かずに余計な力を抜きましょう。不合格という恐怖からの重圧で進むよりは、自らの足で進んでいく方がポジティブな受験勉強になるかと思えます。皆さんの合格を祈っています。

#### 145 兵庫県立大学 理学部 物質科学科合格

関西大学 システム理工学部 物理・応用物理学科 / 37回生 2018年(平成29年度)卒

まず、受験を通して感じたことは、最後まで諦めないことが大切だということです。僕は、センター試験でボーダーに100点近く足りず、一度は諦めかけました。しかし、勉強してきた量は負けてない自信があったし、何よりここで諦めたら一生後悔すると思い、思いきって挑戦することにしました。

結果はだめだったけど、センターが終わってから2次まで必死になって勉強したおかげで、倍率の高い中期に合格することができました。その第一志望の大学に挑戦したことは、ぼくの誇りとなり、胸をはって大学生になることができました。だから皆さんにも、仮に前期がだめだったとしても、前期に向けてがんばったことは必ず中期や後期につながるの、後悔が残るのであれば挑戦するもの悪くないのではと思います。

次に具体的に僕がやって良かったと思う勉強方法をいくつか紹介したいと思います。1つめは、寝る前の15分間に英単語を覚える習慣をつけるということです。英文を読む上で英単語は必須であると思うので毎日継続してやって、プラスα英文を1日1つ読むようにすると、自然と英文が頭の中に入ってくるようになり、どんどん英語がわかる！楽しい！となっていくと思います。2つめは、予習を早くやるということです。特に理系だと数学の予習をため込むと、数学だけで手一杯になり、他の教科に手が回らなくなってしまうケースがあります。それを防ぐためには予習が要らない日でも、予習がある時と同じような分量をこなすということをするのです。それを続けると、授業で9月ごろに終わる問題集の予習が、夏休みの中間ぐらいですべて終わらせることができ、少しの優越感と気持ちの余裕をもつことができると同時に、その分の時間を復習や苦手分野に充てることができるので、大変だけど、この方法はお勧めです。最後に模試の活用です。模試はあくまで模試であって、結果を気にする必要はないです。必要なことは、模試からいま自分が何ができないのか、これから何をすればよいのかに気づき修正していくことです。模試の問題は良くできていて、すぐに自分ができていない分野がわかるので、その都度復習して苦手をなくしていくと、最後には苦手はほとんどないということになることも可能だと思います。

これから、結果が出ずに辛いこともあると思いますが、最後までやり抜けば、きっと自分が納得のいく結果が待っていると思います。最後まで諦めずに頑張ってください。

#### 146 高知工科大学 システム工学群合格 / 37回生 2018年(平成29年度)卒

僕にとって、受験生としての一年間は長くもあり、あっという間でもありました。僕がこの一年間で大切だと感じたことを書こうと思います。

まず一つ目に、まだ具体的な志望校が決まっていない人は早めに志望校を決めた方がいいと思います。なぜなら、そうすることで具体的な目標ができ、これからの学習計画をたてやすくなるからです。また、そういう人は早めに志望校の赤本を買うとよいでしょう。志望校への心持が強まり、勉強のモチベーションが上がります。

二つ目は、先生や友達を頼ってください。例えば、理解できない問題があったり解答を見てもわからないときは質問をしてください。全力で質問すれば先生もきっと全力で教えてくれます。南高には頼りになる先生がたくさんいらっしゃいます。積極的に質問に行きましょう。また、友達に聞くことは友達の時間を奪うのでは、と考える人もいるかもしれませんが違います。教える友達にとっても、きちんと理解できているか試す機会にもなります。わからないところをわからないままにしておくことほど、もったいないことはありません。それに、この一年はともしんどいです。あなたがしんどいときは、周りの友達もしんどいはず。そのようなときこそ、お互いに励まし合って乗り越えてください。

三つ目は、最後まで諦めないことです。僕は模試ではどんどん成績を伸ばしていましたが、センター試験本番で大失敗をしてしまい、第一志望を受けることができませんでした。更に、妥協して受けた第二志望にも不合格となってしまいました。そのときは本当に落ち込んで、「もう私立にしようかな…」と考えていたこともありましたが、周りの友達や先生方に励まされて最後まで諦めずに頑張った結果、なんとか後期で国公立に合格することができました。最後まで頑張ることはとても辛いですが、諦めなければ必ず結果は出ます。粘り強く頑張ってください。

一年間、長い戦いになります。不安を感じることも多々あると思います。でも大丈夫！不安に感じ

るということは、今まで頑張ってきた証拠です。自分を信じて最後まで頑張ってください。応援しています！